

令和元年度 第2回かほく市行政改革推進委員会 会議録

日 時	令和元年6月19日（水） 13時30分～14時42分
場 所	かほく市役所庁舎 B01会議室
出席委員	今村会長、坂野委員、油野委員、渡邊委員、元木委員、森委員、山口委員、中嶋委員、上村委員（9名） ※欠席：細井委員、森下委員、架谷委員（3名）
事務局	総務課【小村課長、清水課長補佐、網江総務係長、山本主査】
議 題 等	1. 今村会長あいさつ 2. 平成30年度における第3次行政改革実施報告について 3. 第4次かほく市行政改革大綱（案）及び答申（案）について 4. その他
会議資料	・平成30年度第3次行政改革実施報告書

○あいさつ【今村会長】

○平成30年度における第3次行政改革実施報告について

※冒頭、課長より説明は未達成となった11項目を中心に行うこと、また全体的な実施状況及び実績について説明した。未達成となった11項目については、担当職員が説明を行った。

○第4次かほく市行政改革大綱（案）及び答申（案）について

・事務局より、前回の会議で指摘のあった点について、変更した旨説明をし、追加で変更点がないか聞き取ったが、特に意見はなかった。

【主な質疑応答】

（会長）

・「交通安全対策の推進」について、高齢者の事故が多発し、運転免許の自主返納への関心が高まっているが、どういう支援策をとっているか。

（事務局）

・返納者に対し、市商工会発行の「かほく市共通商品券1万円分」と1万円分の電子マネーがチャージされた「かほくにゃおんWAONカード」を交付している。

（委員）

・県では安全運転サポート車の購入に対する助成もあると聞いている。

(会長)

・返納した人は福祉巡回バスを使うことが多いと思う。返納するかどうかを決めるには、付近の公共交通の状況は大きく関係する。運行ルートの見直しが3年に1回とのことだが、1年に1回など検討してみてもいいのかもしれない。

(委員)

・町会区長会連合会でも議論があり、運行ルートの変更については、町会長や区長はほとんどわかっていなかった。

(会長)

・運行ルート変更については利用者の声も反映できるようにして欲しい。

(委員)

・「地域防災体制の確立」について、55町会区のうち、6つの町会区がまだ自主防災組織を組織していない。特に、遠塚区は防災士が24人もいるのに組織化されていない。

(事務局)

・地区ごとに事情があるため、組織化されていない地区もある。市としては、組織化について今後も依頼を続けていく。

(委員)

・組織化することで、できることもあるので是非して欲しい。

(委員)

・「定住促進事業の推進」について、対象者の年齢は何歳までか。また、夫婦両方とも若くないといけないのか。

(事務局)

・賃借を対象にした「新婚さん住まい応援事業」は、婚姻届を提出してから1年以内の夫婦で、ともに40歳未満の方が対象になる。また、戸建てを対象にした「若者マイホーム取得奨励金」は45歳未満の方が対象になる。

(委員)

・近年、晩婚の方が多いので、新婚さん住まい応援事業について夫婦ともに40歳未満の方とはいわず、どちらか40歳未満であればよいというように拡充されないか。

(事務局)

・おそらく、夫婦ともに40歳未満にしているのは、どちらかが40歳以上の方がいれば、一般的に職場で、ある一定の地位と所得収入があって生活しているということも関係していると思われる。

(委員)

・介護事業所の送迎の車をよく見るが、市外の業者も見る。割合的にはどれほどか。

(事務局)

・送迎となると通所介護サービスが主なものになる。市外では津幡町の事業所を利用されて

いる方が多い。詳細なデータはないが、1割から2割程度と思われる。

(委員)

- ・「地域づくり人材の育成」について、学校支援ボランティアの登録数が増えていない。

(事務局)

- ・ボランティアに登録しても、実際に活動をする機会がない方が多く、登録が進んでいないと聞いている。

(委員)

- ・自分の教員時代にもこのボランティア事業は行っていた。習字やミシンなど、授業に活かすことができるスキルを持っている方は、年何回も活動していただいている。そうでない方はどうしても、活動する機会は少ない。学校側のニーズとボランティア側とをマッチングするのが難しいところである。かほく市においてはコーディネーターがこのマッチングを行っているので、よい取り組みである。

(委員)

- ・登録をしていなくてもボランティアの活動をしている方もいる。この登録者数だけが全てではない気もする。

○今後のスケジュールについて

会長より、次回は8月23日(金)13時30分から開催。同日14時より市長に答申する旨の説明。

14時42分会議終了